



サービス 通信

富士重工業株式会社

本社：東京都新宿区

西新宿1-7-2 (スバルビル)

NO. FAS-070

発行 48年5月30日



1. 標 題： フルフロー・オイル・フィルターの取付
2. 適用機体： FA-200シリーズの機体全機
3. 適用度： 任意事項
4. 目 的： エンジン寿命の延長及びオイル交換時期、現行50時間を62.5時間～100時間に延長する。
5. 指 示： 現状のオイル・フィルターを、フルフロー・フィルターに換装する。合せて真空ポンプ排気配管を1部変更する。
6. 実施時期： 任意
7. 承 認： 航空局承認対象外
8. 所要部品： この作業には下記の部品が必要である。

(a) オイル・フィルターの換装

部品番号	部 品 名 称	1機当り個数
75528	OIL FILTER AND ADAPTER ASSY KIT	1
(上記キットには下記部品が含まれる)		
74911	FILTER AND ADAPTER ASSY	1
76691	OIL FILTER ADAPTER GASKET	1
STD-8	WASHER	4
STD-1411	NUT	1
25C-10-P03	STUD	1
STD-1856	SELF-LOCKING SCREW	3

FAS-070

PAGE 1 OF 5

部品番号	部 品 名 称	1 機 当 り 個 数
STD-160	INTERNAL TOOTH LOCK WASHER	1
5578426	TEMPERATURE BULB GASKET	1
MS20995C32-18	WIRE-LOCK	AR
F-0454-0865	HOSE	1
200-324191-103	TUBE ASSY	1

(b) フィルター・エレメントの交換

部品番号	部 品 名 称	1 機 当 り 個 数
6435683	REPLACEMENT FILTER ELEMENT ASSY	1

9. 特殊工具： なし

10. 重量重心： 無視出来る

11. 準拠資料： LYCOMING SERVICE LETTER No. L157A (1966, 12, 9)

12. 所要工数： 3.0 M/H

13. 作業手順：

- (1) サービス・マニュアル項目 4-3-1 によりエンジンからリング（上部）を取り外す。
- (2) 回転計フレキシブル・シャフトをアクセサリ・ハウジング部にて取り外す。
- (3) 真空ポンプが取付いている場合「図-3」のホース F-0454-0816、チューブ 200-324191-101 を取り外す。
- (4) 「図-2」に於いて、オイル・プレッシャ・ハウジング 69510 から、油温バルブ LW-10269 アダプター（油温バルブ取付）及びバイパス・バルブ 75944 を取り外す。
- (5) オイル・プレッシャー・ハウジングをエンジンに取り付けている、キャップ・スクリーン及びワッシャー（各 4 ケ）を取り外す。ハウジング・スクリーン及びガスケットを取り外す。ガスケットの 1 部がアクセサリ・ハウジングの取付面に付着していたなら、これを完全に取り除いてから新しいガスケットを装着する。
- (6) 「図-2」に於いて 1/4" のスタッド・ドライバーを使用して、アクセサリ・ハウジング取付パッドの左下部タップ孔にスタッド 25C-10-P03 (ACP/N5579090) を取り付ける。スタッドを .60/.64" の高さまでネジ込む。

- (7) キャップ・スクリュー STD-1856 (3本) を用いて、取付パッドのタップ孔の深さをチェックする。キャップ・スクリューが入って行くところまで手でネジ込む。スクリューの下側とパッド間の寸法を測定する。寸法が $1/8$ " 以上の場合は、 $1/4-20$ の底つきタップを用いて、タップ孔底部のネジ孔をさらう。
- (8) 「図-1」に於いて、アクセサリ・ハウジングの取付パッドに新しいガスケット 76691 (AC6437520) を組付ける。POB又は同等なガスケット・シーラントを使用する。ガスケットの片側に "ENGINE SIDE" と記入されている面をエンジンの方に向ける。
- (9) フィルター及びアダプター組立をアクセサリ・ハウジングの取付パッド部に組立て、左下のスタッド (前項6) に平ワッシャー STD-8、ロックワッシャー STD-160、ナット STD-1411 で締付ける。(もしナット取付時、スタッドの頭とアダプターの間には十分なクリアランスがない場合、アダプター組立をはずし、スタッドをさらに廻す。) 次にナットをしっかりと締めした後スタッドの頭がアダプターに当たらないか確認する。
- (10) 平ワッシャー STD-8 をアダプターとロックワッシャーの間に入れ、3本のセルフ・ロッキング・ボルト STD-1856 でアダプターを取付パッドに取り付ける。
- (11) (9)、(10)項のボルト及びナットを 75 in-lbs のトルクで締め付ける。
- (12) 次にフィルター・ハウジングを取り付ける。この時、アダプターにハウジングが取り付けられない場合は次のことを行う。
- アダプター・ガスケットと、ハウジング・ガスケットをしっかりと取り付け、そのときナイロン・ナットをチェックする。(図-1)
- ナットは指締めでカバー・プレートに密着していること。ナイロン・ナットはカバー・プレートの表面に突出してはならない。
- (13) 取付ボルトを 20~25 ft-lbs で締付ける。又、ハウジング側面のループを通して、ボルトに安全線をかける。
- (14) 「図-1」に於いて、前項(4)で取り外した油温バルブ、アダプターを、ガスケット 5578426 を用いて①の箇所に取り付ける。安全線を実施する。
- (15) 「図-1」に於いて、前項(4)で取り外したバイパス・バルブを、ガスケット 76510 を用いてアダプター上の②箇所に取り付ける。安全線を実施する。

- (16) 「図-3」に於いて、前項(3)にて取外したホース及びチューブをそれぞれ F-0454-0865、200-324191-103 に交換する。(クランプ等はそのまま使用)
- (17) 回転計フレキシブル・シャフトを取り付ける。
- (18) エンジンを始動し、オイル洩れをチェックする。又、エンジン・オイルをチェックし、フィルターの追加に伴い、約1クォートのオイルを補充する。
- (19) エンジンからリングを取り付ける。

1.4. フィルター・エレメント交換手順

エレメントの交換はエンジン使用時間50時間毎に行う。

- (1) フィルター・ハウジングとボルト頭部から安全線を取り外す。
- (2) ボルトをゆるめ、アダプターからフィルター組立を取り外す。
- (3) エレメントを廃却する前に、外側の穴つきペーパー・カバーを取り除く。

ナイフでエレメント両端の金属キャップを切り開く。そのときエレメントのひだを注意しながら開き、エンジン内部に傷を付けている様な金属片がないか調べる。

新しいエンジンでは小さな金属片が見つかるかも知れないが、それは一般には問題とはならない。

- (4) (12)、(13)項に示す作業を実施する。

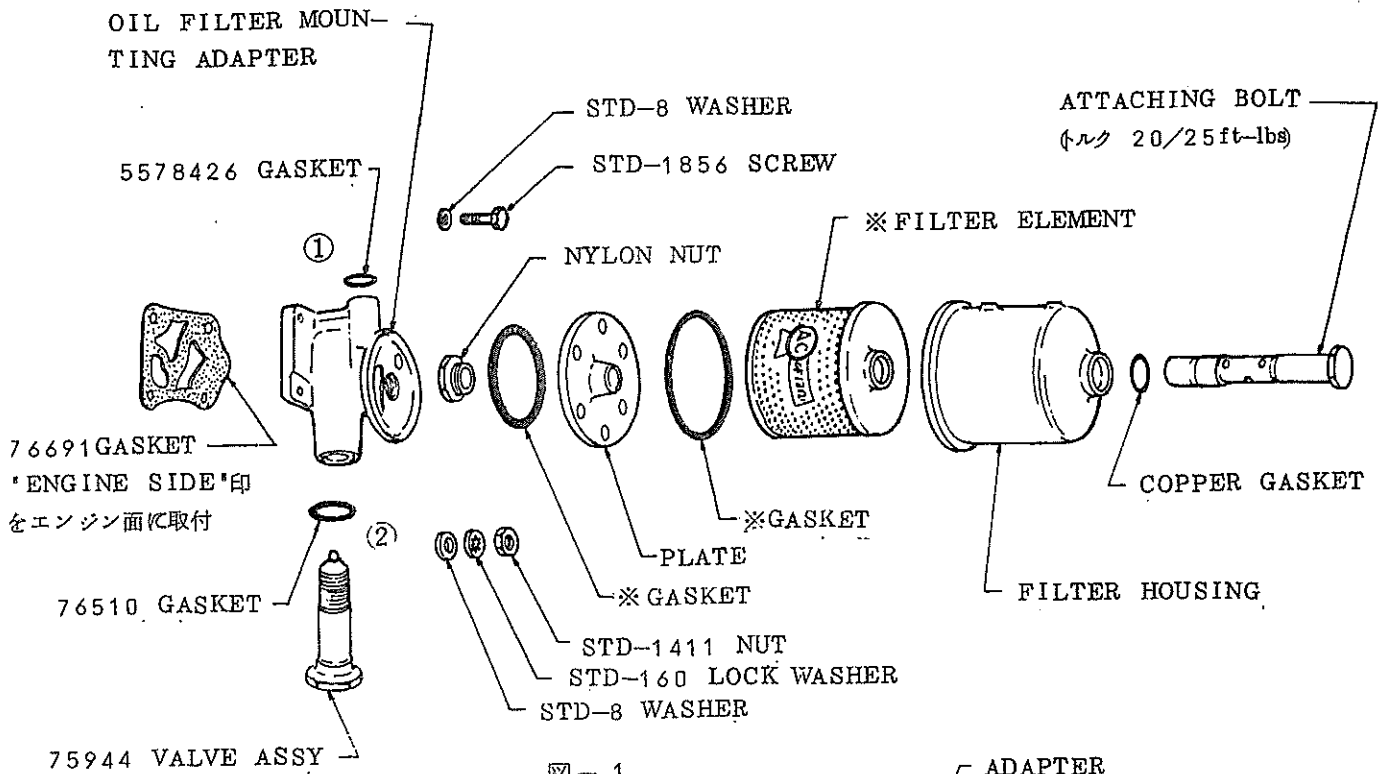


図-1

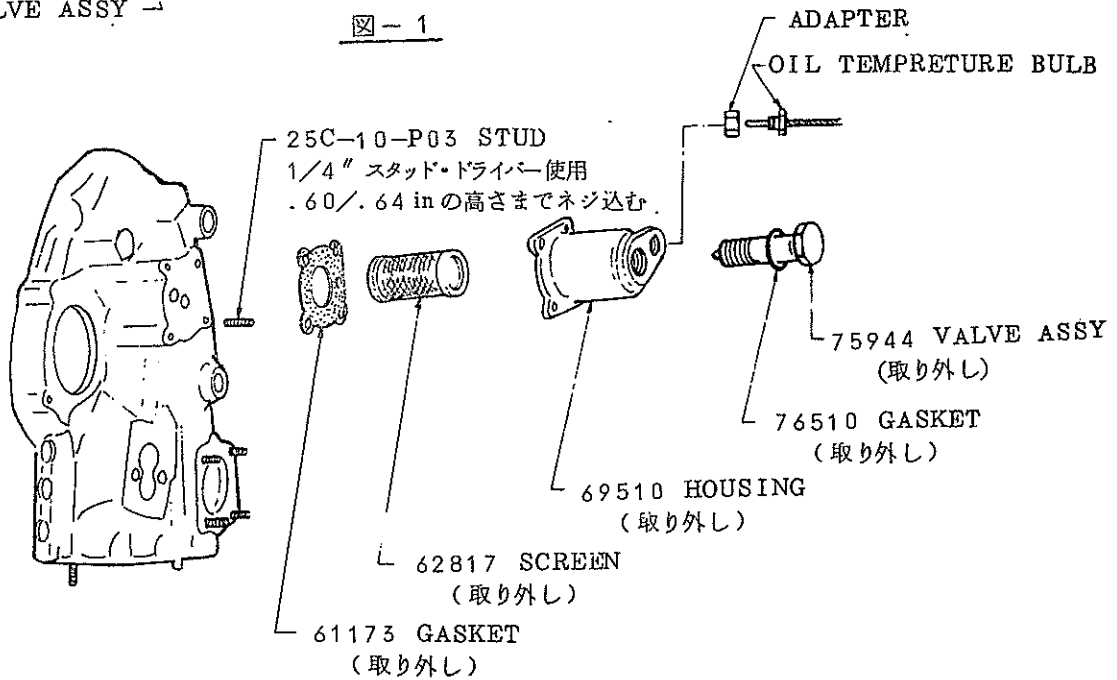


図-2

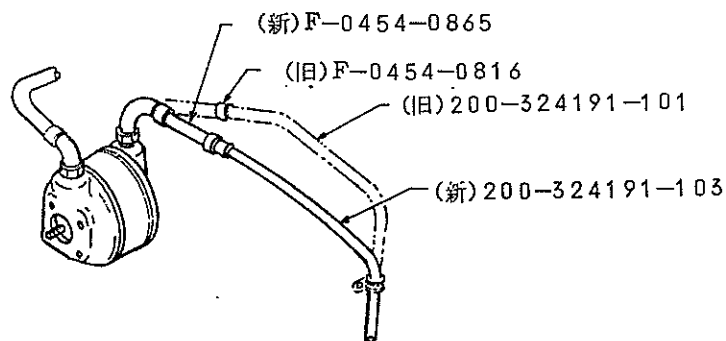


図-3

*印は交換用フィルタ・エレメントの構成部品を示す。